

# グループホーム「ポランの家」通信

2010. 5. 25 N030

余市町大川町 8 丁目 11 番地 TEL 0135-22-1577 発行責任者 橋本武雄

- ▼北海道の春は桜の花も辛夷の花も一緒に咲いて、そしてリンゴの花、庭にはチューリップと百花爛漫の世界。
- ▼颯爽と自転車で乗ってやって来る北海道らしい春も好きですが、ゆっくりと、ゆっくりと道草しながらやって来る春も良いですね。
- ▼「此の花は馬車に乗って、海の岸を真っ先に春を撒き撒きやって来たのさ。」(横光利一=春は馬車に乗って)。
- ▼ゆっくりとやってきた穏やかな春の日差しの中で、庭の花にとまる小さな蜂を眺めながら、ブラックコーヒーを飲むのもいいな。(私には似合わない? コップ酒の方がいいですか?)
- ▼ポランの家もベランダの窓を開けると、レースのカーテンが浜風にかすかに揺れる。



ポランの庭の「忘れな草」



ポランの庭の「まいずる草」

## お花見に行って来ましたよ

何時もお花見には苦労をします。外の行事ですので天気に左右されてしまいます。

そこで、今年は全天候型の「フルーツパーク仁木」でお花見をすることにしました。

ミニ植物園をみて、売店でそれぞれのお小遣いでお土産を買い、レストランで生ラムジンギスカン。

桜が良く見えるようにテーブルセットは皆、窓側に持っていったのですが、桜の花を見ている人はあまりいません。蒼く光る稲穂連峰と残雪。それを背景に桜の花も「私きれい? ね! きれいでしょ!」と私に問いかけてきます。それで私が入居者の皆さんに「桜きれいだね」と話を向けるのですが、「そうね」と言って、すぐ目はジンギスカンに行ってしまう。

まさに「花より団子」。でもこうして皆で楽しく「桜」をちらっ・ちらっ眺めながら、ジンギスカンを「ほうばる」のは最高に幸せです。皆さんジンギスカンとおにぎりを殆んどたいらげました。観楓会もここでしょうかな……。

【フルーツパーク仁木  
植物園にて】

《まだあげそめし  
前髪の  
林檎のもとに見えしとき  
前にさしたる花畑の  
花ある君と思ひけり》

【初恋 島崎藤村】



もう焼けるね  
乾杯だわ! 乾杯!  
……  
やっぱり生ラム美味しいね!

## ポランの家と野口雨情の世界

天気の良い日にベランダに出て、シャボン玉を飛ばして遊びました。シャボン玉もきれいに7色に輝き、庭の花も映っています。自然と皆、口ずさむ歌、シャボン玉飛んだ屋根まで飛んだ 屋根まで飛んで こわれて消えた……………

風 風 吹くな シャボン玉飛ばそ

【作詞 野口雨情】

この「シャボン玉」は雨情の幼くして亡くなった子どものための鎮魂歌といわれています。

4月、私はホームページ、ポラン日記の欄に雨情にまつわる「7つの子」を書きました。

…この季節、ポランの家の脇にある大きな樹に、「カラス」の夫婦が毎年「巢」を作りにきます。

ポランの家の方たちと、近所の小さな子どもたちの安全を考え、巢作りは遠慮してもらっています。

カラスには「張り紙」をしても理解してもらえませんが、私が「すまないね」といいながらカラスが卵を産む前に「巢共々の所払い」を3回程します。電線に止まっているカラスの夫婦は不安げにお互い見つめあいながら「眼を赤くして」私を見ています。

「からす何故啼くの、からすは山に可愛い7つの子があるからよ…」。余市町にも立ち寄り、その碑もある野口雨情の童謡「7つの子」。「7つ」の意味には、いろいろな諸説はあるようですが、子どもが沢山いるのよ、という意味の他に雨情は仏教歌も作っておりましたので、私はこの「7」というのは命の象徴としての7が在るのだらうと思っています。…………と。

童謡作家ですから、私たちの身近な題材を歌いますので、親近感を覚えるのは当然かもしれませんが、愛おしく、ちいさないのちに眼差しを向ける「雨情」。今年は何故か「野口雨情」を感じます。



## 端午の節句

5月5日、端午の節句。

お昼ごはんは「ちまき」「キノコ汁」「マグロと出世魚スズキの刺身」。

そして恒例の「ベコ餅」作り。講釈が千飛び交う中、皆で楽しくベコ餅を作りました。

北海道は「べこ餅」、本州は「かしわ餅」を作るのよ、とお話しながら作っているのは、三人かしまし姉さんに一人増えて四人の姉さん。

私の出身は、オホーツク沿いの美幌町ですが、小さい時食べたのは「かしわ餅」に「あやめだんご=小麦粉を平らなだんご状にして茹で、砂糖と醤油の甘辛のたれで頂く」。

「べこ餅」のルーツは東北地方のようですので、北海道も「べこ餅」になったのでしょうか。

私の故郷、美幌の「かしわ餅」はどうなったの？  
(そつたらことなんも気にすることないべさ！)

お祝いはお祝いだべさ！)



講釈千飛び、ベコ餅を作る。  
また、これも楽しからずや。



スタッフが寝ている入居者の方のために「アンパンマンベコ餅」を作ってくれました。頭はサザエさんのお父さんに似ています。なんとなく似ている感じがします。



カラスが巣を作る  
ポランの家の御神木



ポランの山椒の木  
これから冷奴には  
山椒の葉よ！



今日は皆でシューマイ作りです。



一緒に台所の後片付け

スタッフが作った「たけお  
ペコ餅」。これは魔除けで、  
これを食べると病気にな  
らないそうです。  
でも、これ私にそっくりです



## 日常の風景

## ポランの家 フォトギャラリー



4月25日はポランの家の  
開設記念日。  
お寿司をとってお祝いで  
す。



母の日に。

お花見で。見事な稲穂  
連峰をバックに万歳！！  
気持ちいい！



ご家族の皆様へ

-----

-----

-----